

公立学校情報機器整備事業に係る
各種計画

令和7年3月

(令和8年5月更新)

にかほ市教育委員会

(別添1)

【にかほ市】
端末整備・更新計画

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
① 児童生徒数	1,307	1,266	1,197		
② 予備機を含む 整備上限台数	1,503	1,455	1,376		
③ 整備台数 (予備機除く)			1,197		
④ ③のうち 基金事業によるもの			1,197		
⑤ 累積更新率			100.0		
⑥ 予備機整備台数			179		
⑦ ⑥のうち 基金事業によるもの			179		
⑧ 予備機整備率			15.0		

(端末の整備・更新の考え方)

令和2年度に整備したタブレット端末1,626台のうち、児童生徒数の推移を考慮し、1,376台を令和8年度に更新する。

(更新対象端末のリユース、リサイクル、処分について)

○対象台数：1,626台

○処分方法

・小型家電リサイクル法の認定事業者へ再使用・再資源化を委託：1,626台

○端末のデータの消去方法 ※いずれかに○を付ける。

・処分事業者へ委託する

○スケジュール(予定)

令和8年8月 新規購入端末の使用開始

令和8年10月 処分事業者 選定

令和8年12月 使用済端末の事業者への引き渡し

(別添2)

【にかほ市】
ネットワーク整備計画

1. 必要なネットワーク速度が確保できている学校数、総学校数に占める割合 (%)

必要なネットワーク速度が確保できている学校数：7校

総学校数に占める割合：100%

2. 必要なネットワーク速度の確保に向けたスケジュール

にかほ市では、令和3年度にネットワーク速度の改善に係る取り組みを行っており、令和6年度に保守事業者により全校でネットワーク速度の計測を行ったが、全ての学校で必要なネットワーク速度が確保されており、体感調査においてもネットワーク速度が遅いと感じている学校は特になく、また、今後児童生徒数の減少も想定されることから現時点でネットワーク速度の確保に向けた更なる取り組みを行う予定はない。なお、各校のネットワークの不具合についても保守事業者により随時対応可能な体制を整備している。

(別添3)

【にかほ市】
校務DX計画

現在、にかほ市では教職員の勤怠管理、指導要録、児童生徒名簿、出席簿、保健等の校務支援システムは導入しているが、統合型校務支援システムはまだ導入していない状況である。今後については、秋田県主導により県内全市町村へ導入を推奨している秋田県小中学校等統合型校務支援システムを令和10年度に導入し、令和11年度から使用開始する予定としている。

また、校務のデジタル化については、Googleフォームによるアンケート調査の実施や児童生徒の欠席連絡への活用、Microsoft Teamsによる学校内での情報共有及び市内学校間の連絡ツールとしての活用、市内学校間共有フォルダによる情報共有等FAXでのやり取りの縮小、押印省略、校務の効率化、ペーパーレス化につながる取り組みを実施している。

さらに、市独自の取り組みとして情報支援員を配置し、HPの作成や校務に関する業務のサポート等ハード面のみならずソフト面でも教職員の負担軽減に取り組んでいる。今後は、統合型校務支援システムを導入し、更に校務DXを推進していく。

(別添4)

【にかほ市】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

急速に変化していく情報化社会へ対応するとともに、「自ら学ぶ意欲をもって」学習に取り組み、「学ぶ喜び」「達成感」を味わうことができる子どもの育成を目指し、以下のように1人1台端末を始めとするICT機器を活用した学びの充実を図っていく。

- (1) 児童生徒の多様な学びを常時支援し、疑問に思ったことをすぐに調べられるようにすることで情報を収集・選択する情報活用能力を高めることができるようにする。
- (2) カメラや動画機能、学習支援ソフトを使って調べたことや考えたことを可視化し、友達と協力して学び合うことで、多角的・多面的に物事を捉えて自分の考えをまとめる力や、相手に分かりやすく伝える力を高めることができるようにする。
- (3) 学習の成果や課題を記録したり、学習支援ソフトを活用したドリル学習を行ったりすることで、学習の様子を見取り、個に応じた学習に取り組むことができるようにする。

2. GIGA第1期の総括

令和2年度中に国のGIGAスクール構想により、小中学校全児童生徒にタブレット端末を配付し、令和3年度からICTを活用した授業づくりを進めてきた。当初はインターネットがつながりにくいなどのトラブルがあったが、速度改善に係る取組を経て、現在は問題なく接続できるようになっている。

また、ICTの活用に長けている教員を各校から2名ずつICTマイスターとして任命し、令和4年度から市で1名配置しているICT支援員と連携して、ICTを活用した授業の推進と校内研修に取り組んできた。年度末には、各校のタブレット端末の活用事例をまとめた「にかほ市GIGAスクールハンドブック」を作成し、にかほ市内全小・中学校で共有してきたことで、活用の幅が広がってきている。

3. 1人1台端末の利活用方策

各学校においては、活用事例が増えたことから、どの学校も1人1台端末の利用率が上がり、日常的に使用されるようになってきている。今後も適切な端末の整備・更新により1人1台端末環境を引き続き維持し、以下のように端末の利活用を推進していく。

- (1) ICT支援員やICTマイスターを活用した教員のICT活用能力を高めるための研修を充実させるとともに、児童生徒のICTの活用能力の個人差に対応した丁寧な指導を行い、「1人1台端末の積極的活用」を実現させていく。

- (2) 「デジタル」と「紙」のそれぞれのよさを組み合わせながら、児童生徒にとって最適な調べ方やまとめ方、ドリル学習等への取組を自己決定・自己選択する場面を設定し、「個別最適な学習の充実」を実現していく。
- (3) 端末を使って調べたことや考えたことを可視化し、教師のコーディネートにより児童生徒が主体的に学び合いを展開していくことで、「協働的な学習の充実」を実現していく。
- (4) 不登校や別室登校の児童・生徒に対し、端末を活用した授業への参加や教育相談を実施できる体制を整えるなど、「学びの保障」を実現していく。